

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成25年度 玉藻公園管理委員会
開催日時	平成26年3月26日(水) 午前10時～11時
開催場所	玉藻公園 披雲閣 蘇鉄の間
議 題 (報告事項)	<ol style="list-style-type: none"> 1 指定管理者による平成25年度事業について 2 平成26年度事業計画について 3 平成26年度玉藻公園の整備、史跡高松城跡保存整備事業について 4 玉藻公園入園状況について 5 消費税等の改正に伴う披雲閣使用料の平成26年度改定について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	吉田会長、川西副会長、小河委員、香川委員、林委員、佐伯委員、 豊田委員、篠永委員、小西委員、藤田委員
傍 聴 者	
担当課及び 連絡先	文化財課 文化財管理係 839-2660

会議の経過及び結果

今回の議題は報告事項のみのため、事務局からの説明後、下記の意見・質問・要請等があった。

(委員) 来園者がどこから来たのかアンケート調査は実施しているのか。
(事務局) 現在のところ恒常的・定期的なアンケート調査は実施していない。市の観光施策に生かしていくという観点からも、今後、入園者の傾向等が分かるように、アンケート調査の実施を検討する。

(委員) 披雲閣利用状況(貸館としての稼働率)が知りたい。特に土日は、秋は全く空いておらず予約が取れなかった。春もなかなか予約が取れない状況である。逆に平日は、貸館としてほとんど稼働しておらず、開店休業状態である。うまく稼働していけるよう何か良い方策はないのか。
(事務局) 披雲閣利用状況(稼働率)については確認する。

(委員) 披雲閣の見学についてだが、一般公開時(5月5日の無料開放時など)以外に、随時、一般の人が見学できるようになっていないのか。

(事務局) ボランティアガイドが同行していて、かつ、披雲閣が使用されていないときは、一般の人でも披雲閣を見学可能である。また、学術的な目的で披雲閣を調査したいと予め申し出があった場合も、その日に披雲閣を使用していなければ、見学を認めている。ボランティアガイドは、土・日・祝日の各午前10時～午後3時、西門のボランティアガイド詰所テントにいる。

(委員) ボランティアガイドを利用して披雲閣を見学することができる、と掲示等により周知してはどうか。また、後者の「学術的な目的で披雲閣を調査したいと予め申し出た場合」の要件を緩和してはどうか。

(委員) 披雲閣の中を有料で案内する仕組みを確立してはどうか。有料にすることでその見学料を披雲閣の保存費用に充てることもできる。さらに言えば、ボランティアガイド無しでも有料ガイドンスにより説明が聞ける仕組みを検討してはどうか。見学・説明がボランティアガイド頼みになっているのもおかしい。

(事務局) 今後の検討課題とさせていただきます。

(委員) 桜御門工事の工期…終了予定時期はいつか。

(事務局) 現段階ではまだ未定である。文化庁から指摘があり、石垣を解体してしっかり調査しないと基本実施設計の承認がおりない。

(委員) 桜御門はもともと檣であるが、構造がはっきりしていない。

(事務局) 26年度中、石垣の解体を進めていきながら、文化庁と基本設計を協議していく予定である。

(委員) 玉藻公園のトイレについて、改修後はどのようなになるか。

(事務局) (平成26年3月改修の)桜の馬場のトイレには、改修後、多目的トイレを設置している。(26年度に改修予定の)西門側トイレについても、同じく、ユニバーサルデザインを取り入れた様式に改修する予定である。

(委員) トイレは思い切ってピカピカにして、使用した人が綺麗だったなと感じてもらえるようすれば、玉藻公園の印象も品格もプラスの方向に上がる。

(委員) 玉藻公園の古文書などが一か所ですべて分かる、という場所を作ってはどうか。高松城跡をもっと詳しく知ってもらいたいというところを前面に出して、まずは既存施設(陳列館)をもっと効果的に活用するよう見直していくべき。

また、平成25年6月の和船就航の際にお堀に放流した鯛を、川鶴が飛来してだいぶ食べてしまった。鯛の稚魚は小さくて、水門のゲートのところ5~6cmの幅から外の海に出てしまったものもいる。もっと鯛の数を増やしたらよい。

(委員) 玉藻公園のお土産売場を充実させてはどうか。

(委員) 先日の高松国際ピアノコンクール(H26年3月開催)で、海外の方から、サンポートホールのビュッフェコーナーのところから海側に向かって見られる景色がすばらしく、地元では、なぜもっとこういったすばらしいところを前面に出さないのかと言われた。やはり、自分たちのよいところを外の人に知ってもらいたいという強い気持ちでやっていかないといけない。

(委員) 車椅子利用者、高齢者、障がい者の方のため、披雲閣の玄関入口の階段の段差に、可動式でも良いので、スロープをつけてもらうことは可能か。人力で持ち上げて運ぶのは、実際やってみたが、とても不安定で危ないし、一方で、車椅子によって重要文化財の建造物を傷めてもいけないので、両者をともにクリアできるように、ユニバーサルデザインを取り入れていただけないか。

(事務局) 研究させていただきたい。

(委員) 玉藻公園の北側で県の護岸工事が予定されているが、この機会に、海水がお堀のほうへ流れ込んでくる、その入口部分が見えるような設計にしたらよいのでは。

(事務局) 高潮対策のための護岸工事と聞いており、計画内容について県に確認する。

(委員) 例えば、県内一日旅行のスポットとして、栗林公園や屋島はよく取り上げられるが、玉藻公園は関心が希薄で、立ち寄る頻度も低いと思われる。この状況は依然から変わっていない。もっと地元、特に県内の他都市へ情報を発信し、宣伝していかなくてはならない。

(委員) 地元の小・中学生も、地元の文化財を誇りに思える仕組みが必要ではないか。若い世代も取り込んでいけるような仕組みを検討してほしい。

(委員) 県立ミュージアムと玉藻公園も、玉藻公園側への通り抜け(アクセス)の案内看板設置はミュージアムにおいて以前からしているが、今後はさらに連携を強化していきたい。

(委員) 桜御門の工事の関係で工事期間中に設置する予定の通路(橋)…幅を取って落下の危険性がないようにする等、今後、十分な安全性を確保していただきたい。